

東京都議会議員

# 入江のぶこ

## しっかり働き、しっかり育てる

安心して、働き、子育てできる東京を実現します！

### ●ご意見・ご要望をお聞かせください

「あの問題がどうなっているのか教えて欲しい」「都の子育て政策や働き方について意見したい」など、都政や暮らしについてのご意見・ご要望がありましたら、お気軽にご連絡ください。



## 入江のぶこ事務所

〒105-6415 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15階

TEL 03-6807-3948

FAX 03-6807-3954

MAIL info@irienobuko.com

## PROFILE

成城大学文芸学部英文学科卒業。民放テレビ局に勤務し、子どもや子育てに関するコンテンツの企画・プロデュースを担当。平成29年の東京都議会議員選挙港区選挙区において初当選。現在2期目。都議会では総務委員会理事、議会運営委員会委員、予算特別委員会委員を務める。

## 1 2050東京戦略でのナイトタイム観光の推進

**質問** 私は令和5年度より「東京ナイトタイム戦略」の推進を求めてまいりました。官民の取り組みを面的に広げ、世界に発信していくことで、東京の更なるプレゼンス向上、経済活性化が実現すると考えています。1月に公表された2050東京戦略(案)に、「戦略的なナイトタイム観光の推進」が新たに加わっていることを高く評価します。ナイトタイム観光の推進について、新たな戦略の中でどのように位置づけられているのか、見解を伺います。

**政策企画局長 答弁** ナイトタイム観光について、ブロードリスニングで集まった2万7千件を超える声も踏まえ、観光分野を戦略の柱として新設し、「訪れるたびに新しい体験や発見がある、世界を惹きつける東京へ」というビジョンを掲げています。その実現に向け官民が連携し、光や水景などを活かした多彩な夜間コンテンツの充実や、地域に根差したナイトタイム観光などに取り組んでいきます。今後、新たな戦略の下、都市の魅力を磨き上げ、世界中の誰もが夢中になる東京を実現していきます。



## 2 東京ベイeSGプロジェクトのバージョンアップ

**質問** 今回公表されたVersion2.0では、2035年のベイエリア(臨海副都心)は、私がこれまで議会で求めてきたとおり、世界レベルのアートやエンタメ、スポーツ大会、ナイトタイム観光などにより魅力を高め、「新たな創造地」となる姿が描かれています。民間企業の皆さんからは画期的なご提案もいただきました。今回のバージョンアップにより、ベイエリアでどのような賑わいあるまちづくりを目指していくのか、知事に伺います。



**知事 答弁** これまで、中央防波堤の巨大実装エリアで、空飛ぶクルマや再生可能エネルギーなど様々な最先端技術の実装を進めるほか、SusHi Tech等の場を通じ国内外に取り組みを発信してきました。これらの成果を踏まえ、成長の鍵となるGXやDXを強化するとともに、多様な主体の連携・参画を促す機会を創っていきます。さらには、文化、エンタメ、スポーツの世界有数の発信地としていくため、噴水や光の演出による唯一無二の体験を生み出すなど、官民連携で、広大な空間や水辺を活かしたベイエリアならではの賑わいを創出していきます。

※民間企業からのご提案:グリーン水素をメインのエネルギー源にし、サーキュラーエコノミーを実現した、最新のエンターテインメント施設などを官民一体で構築し、そこでシニアや女性の雇用を生み出し、世界に羽ばたくアーティストや和食の料理人を育成していくことなど。



## 3 Web3などフィンテック\*の振興

**質問** 金融の世界では、ブロックチェーン技術を活用したWeb3分野でのイノベーションが進み、これらのイノベーションの成果が、都民の投資の選択肢をさらに広げ、「貯蓄から投資」への流れを加速すると期待されます。こうした新しい分野の取り組みを都民に分かりやすく浸透させていくことが必要です。関係者との連携を一層に密にし、フィンテックの更なる振興に取り組むべきと考えます。見解を伺います。

**スタートアップ・国際金融都市戦略室長 答弁** デジタル証券については、昨年に引き続き発行企業や金融関係者等が参加するシンポジウムを開催し、個人が投資を通じて企業を応援する取り組みなどについて議論を深めます。また5月のSusHi Techでは、Web3がもたらす未来を語るセッションを行い、技術の発展と普及を促し、フィンテックの振興を加速していきます。

\*フィンテック:金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語。

## 4 東京の食の魅力の発信強化

**質問** 東京を訪れる外国人旅行者にとって、一番の楽しみとなっているのが「食」です。2050東京戦略(案)では「世界一的美食都市」の政策を掲げ、コロナ禍でも新規に実現することができた、食のフェスティバル「Tokyo Tokyo Delicious Museum」は東京ベイeSGプロジェクト Version2.0のアクションプランにも位置付けられています。食の魅力には、それを実現してくれる飲食業界の振興も必要です。インバウンドの更なる誘客に向けて、東京の食の魅力を一層広く伝えていくべきと考えますが、都の見解を伺います。

**産業労働局長 答弁** 令和7年度は、東京ならではの食材や調理法などをPRする取り組みについて、参加メディアを増やし、海外への発信を強化します。また、和食を始め東京で楽しめる多彩な料理や都内における食のイベントを紹介するウェブサイトを新たに設け、食の情報を一元的に提供し、食の魅力を活かした旅行者誘致を進めていきます。

## 5 ナイトタイム観光の新たな展開

**質問** 東京のさらなる成長と経済活性化に向かう上で観光の力は重要であり、特に夜の時間帯は大きなポテンシャルを秘めています。安全・安心の確保と賑わいづくりを両立できるよう、都民や地元の事業者が関わりながら取り組みを進めていくことが大切です。こうした視点を踏まえ、ナイトタイム観光の新たな展開に向けた取り組みが必要と考えますが、見解を伺います。

**産業労働局長 答弁** 東京が国際観光都市としてさらに発展していくためには、ナイトタイム観光の活性化が必要不可欠です。令和7年度は、地域の実情を踏まえたナイトタイム観光を一層推進するため、優れた取り組み事例などを関係者間で共有する場を設けます。また、先導的な取り組みを進める地域を都が選定し、地元自治体や事業者が住民の声を聴きながら取り組む生活環境と調和した夜間の誘客を後押しし、持続可能なナイトタイム観光を推進していきます。

## 6 映画のロケ誘致の支援

**質問** 日本のコンテンツ産業は海外売上高が5兆円規模となり、基幹産業となっています。日本映画や海外の作品の舞台に東京の街並みが登場することは、そのロケ地の訪問を目的とした観光客の誘致につながります。一方で、一部の映画関係者の間では、東京での撮影は困難であるとの認識も根強く、東京での円滑なロケが可能となるようなサポート体制をつくるのが重要です。都の見解を伺います。

**産業労働局長 答弁** 令和7年度は、撮影ニーズの高い地域を担当する専任スタッフを新たに配置し、地元関係者との連携を深め、より円滑なロケにつなげていきます。また、海外の映画関係者を招きロケ地ツアーを実施するほか、撮影経費の助成限度額を引き上げ、海外作品のロケ地としての活用を一層促して、映画等を通じた旅行者誘致を進めていきます。



## 7 芸術文化・ライブエンタメ支援の強化

**質問** 都の文化関連予算はこの10年間で1.5倍となりました。コロナ禍ではいち早く支援策「アートにエールを！」を立ち上げ、芸術文化魅力創出助成やライブ・ステージ応援助成など、要望していたエンターテインメント分野にも支援対象を広げていただきました。また、東京芸術文化相談サポートセンター「アートノト」の開設や、創作環境を提供する「START Box」など、アーティスト等、個人への支援も進めています。芸術文化の力で世界を惹きつける都市・東京の創造性を一段と高めていくためには、その担い手であるアーティスト等への支援をさらに充実させていく必要があると考えますが、見解を伺います。

**生活文化スポーツ局長 答弁** 芸術文化の振興には担い手となるアーティストの持続的な活動の支援が不可欠であり、令和7年度は、若手アーティストへ創作場所を提供する「START Box」事業において、アトリエを拡充するとともに、新たに舞台芸術の稽古場なども整備します。また、活動資金や契約等、アーティストの困りごとをサポートしている「アートノト」では、芸術系大学での講座などアウトリーチ活動を充実し、アーティスト等の活動を多面的に後押ししていきます。

## 8 事業承継・M&Aへの支援

**質問** 都内経済を支えている中小企業の倒産件数が増加する中、後継者不足や経営悪化を理由とする件数も年々増加しており、有名な飲食店などサービス業が、大手企業や外資とのM&Aを検討しているとのこと相談もあります。M&Aによる第三者承継は、「譲渡先企業を見付けられない」「自社を正当に評価してもらえないのか不安」といった声もあります。都内の中小企業が第三者承継を活用して事業承継に取り組んでいけるよう支援を充実すべきと考えますが、見解を伺います。

**産業労働局長 答弁** 後継者の確保が困難な中小企業にとって第三者への承継は効果的な手法です。令和7年度は更に事業承継を進めるため、中小企業振興公社に登録した後継者不在企業と創業希望者とのマッチングを行います。また、小規模企業が正当な価格で譲渡できるよう自社の評価を行う場合、対象経費の全額を助成し、中小企業の事業承継を強力に後押ししていきます。



## 9 教員のメンタルヘルス対策の強化

**質問** メンタルヘルス不調による都内公立学校の教職員の休職者数は令和5年度に830名に上るなど、依然として厳しい状況が続いています。民間企業では、メンタルヘルス不調により休職している場合、所属部署の上司が関わることを控え、むしろ職場から切り離す形で療養に専念する環境を整える、という方向性になっています。また、上司が休職者の職場復帰に向けて環境を整えていくことが重要です。教育長の見解を伺います。

**教育長 答弁** これまでは、心の病の病状が回復しつつある教員に復帰訓練のサポートを実施してきました。令和7年度から、休みに入った直後から臨床心理士等が病状を把握し助言を行い、職場復帰に向けた継続的な支援を開始します。また、休職する教員への管理職によるサポートに関して、これまで学校の要請に応じノウハウ等を提供してきましたが、今後は休職者が出る全ての都立学校に対応を行っていきます。

## 10 日の出ふ頭の再開発

**質問** 港区の日の出ふ頭は、水上バスやレストラン船が発着する棧橋があり、東京港における舟運の拠点の一つです。そして、日の出ふ頭からの東京港の美しい眺望は、世界にアピールできるほどの魅力を有していますが、そのポテンシャルを十分に活かしきれていない状況です。そこで、日の出ふ頭を舟運はもちろん、ナイトタイム観光も可能な新たな賑わいの拠点として、大規模にリニューアルすべきと考えますが、見解を伺います。

**港湾局長 答弁** 日の出ふ頭は立地条件の良さに加え、周辺の大規模再開発事業の進展により、多くの人々の往来が期待されることから、舟運の拠点として高いポテンシャルを有していると認識しています。今後は、更なる賑わいの創出に向け、周辺の再開発の動向や様々な事業者などの意見を踏まえながら、日の出ふ頭全体の将来像について検討していきます。



## 出産子育て負担をもっと軽減!

### 子育て支援

#### 保育料第一子も無償化へ!

- 9月から保育料第一子も所得制限なく無償化へ

#### 無痛分娩に10万円支援

- 都内での無痛分娩に係る費用を最大10万円助成
- 10月から助成開始
- 無痛分娩を安全に受けられる医療機関の体制支援も実施

#### 認証学童で小1の壁対策を加速

- 質の高い学童を認証し財政支援を実施
- 手厚い人員配置や支援員の処遇改善にも助成



## 若者の夢を後押しする東京へ

### 海外留学制度の創設

- 短期留学最大90万、中長期留学最大135万、活動費月最大15万円で大学生向けの助成を実施
- 所得制限はなし、2026年に派遣開始

### 奨学金返済制度を拡充

- 都内の公立・私立の幼稚園～高校等に採用された教員と都・区市町村の技術系職員が対象
- 都が奨学金の1/2の150万円を返済

### 若者政策が重点施策に

- 都の重点計画「2050東京戦略」に若者施策を新たに位置付け
- 若者の声を都政に反映し主体的なチャレンジを応援

